

報道関係者 各位

令和 6 年 4 月 1 日
(担当)経営企画部広報課長 江崎 麻美
(電話) 03 (3506) 9454

PMDA 設立 20 周年を機にパーパスを制定 ～国民の健康・安全の向上のため、PMDA は新たなステージへ～

2024 年 4 月 1 日、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）は設立 20 周年を迎えました。

PMDA は、「健康被害救済」、「承認審査」及び「安全対策」の 3 つの業務を柱とし、「より有効で、より安全な医薬品や医療機器などをより早く国民の皆さまに役立てていただく」ことを使命として、2004 年 4 月に 250 人程度の体制でスタートしました。

設立から 20 年間、審査におけるドラッグラグ・デバイスラグ解消のための取組み、安全対策の強化、健康被害のより迅速な救済など、国民の健康・安全の向上に積極的に貢献すべく活動し、今では 1,000 人を超える組織となりました。

わたしたちの歩みは、患者及びそのご家族の皆さま（医薬品・医療機器等を必要とし、使用されてきた方々）や医療従事者、そして産業界、アカデミアなど各界の方々の見守りとご支援、ご指導の賜物であり、すべての皆さまに心より感謝申し上げます。

わたしたちは、設立 20 周年を「PMDA の新たなスタート」ととらえ、役職員一同、国民の健康・安全の向上のため、既存の枠にとらわれず、様々なことにチャレンジして参ります。

■ PMDA 役職員の思いを込め、新たにパーパスを制定

医薬品・医療機器等を取り巻く環境は日々変化しています。PMDA もこの変化に柔軟に対応していくために、更に成長し、皆さまとともに、皆さま一人ひとりが生き生きと健やかに生きることができる世界を作りたい、そのような思いから、20 周年の第一弾の取組みとして、パーパス（注：後述の PMDA philosophy の図を参照）を制定しました。

全役職員一人ひとりがパーパスと向き合い業務にあたることで、世界中の皆さまとつながりながら、「明日のあたりまえ」をつくり続けます。

なお、パーパスを反映した PMDA の新しいロゴを準備中であり、商標登録が完了次第、順次切り替えて参ります。その他、パーパスの確実な実行に向け、PMDA 内外への浸透策を含めた、様々な取組みを行って参ります。

パーパス（日本語版）

健やかに生きる世界を、ともに、明日へつなぐ

私たち PMDA は、科学と情報を駆使する「知」の技術と、世界と未来を見据え、寄り添い、調和させる「人」の力、審査・安全・救済の「セイフティ・トライアングル」で、誰もが安心でき、一人ひとりが健やかに生き生きと輝く、そんな日常を支える“ライフ・プラットフォーム”として、ともに、「明日のあたりまえ」をつくり続けていきます。

パーパス（英語版）

Making everyone's lives brighter together

We, PMDA, continue to create “Tomorrow's Normal” together, as a “life platform” that supports everyday life, where everyone can feel peaceful and can lead vibrant and healthy lives by PMDA's “Safety Triangle” of review, safety and relief, with “intelligence” weaved through science and information, and with “human resourcefulness” accompanying and bringing the world and the future into harmony.

PMDA Philosophy

健やかに生きる世界を、ともに

ブランドメッセージ

